

学生の皆さんへ

連休明けには大学に来ることができると思っていたのに緊急事態宣言延長があり、がっかりしている人が多いと思います。

私もその1人。総理や専門家委員会の会見を聞いていて、TVに向かって文句言っていました。「気が緩むだって？そんなわけないでしょ。不安と不満でいっぱい、我慢に我慢を重ねて爆発しそうなんだよ」って。

でもね、ここは取り敢えず政府の要請に応える必要があると思います。

3・11の大震災を国会議員として体験した私は、当時どれほど多くの人々が食糧、着るものや薬に不自由しながら、電気もないところで避難所生活をしてきたかを見てきました。今の私たちには、食べるものもあり、自分の住居にいて着るものもあるし電気、水道も止まってお風呂にも入れるしTVも見ることができます。これは、農業従事者や食料品店の人、流通業で働く人やライフラインを守る人たちが感染の危険を冒しながら働いてくれているからです。そして、医療現場では、不幸にも感染してしまった人々の命を守るために最も危険な場所で働いている人々がいます。この活動に協力している消防隊員や自衛官の中には君たちの先輩である至学館の卒業生もいると思います。

これらの人々のために今、私たちができることはいましばらく我慢すること、感染しないため、感染させないために最大限の努力を続けることしかないと思います。

私もそうだけど、至学館の学生たちは動くのが好きで、じっとしているのが不得意な若者が多いと思います。「動」ということでは、他の大学の学生には負けないよね。だからこそ、今は「静」も身につけるトレーニングの時にしましょう。「動」と「静」の両方が人生をよく生きるために必要だと私は考えます。

辛い練習やトレーニングにも耐えられる君たちは、今の自粛生活のきつさや不安にも耐えてより強い精神力を身につけてくれると期待しています。

一方私は、この事態の再延長はないと確信しています。

それで6月に大学を本格的に今月はその準備期間として今月中に順次必要なガイダンス等分散して大学にきてもらう機会をつくっていきます。皆さんには逐次連絡があるはずですから、大学からの情報は注意して見ていてください。

また、これまででも何人かの人が私をはじめ大学の教職員に悩みや心配について相談してくれていますが、一人では解決できないことはどんどん相談してください。

大学が再開されても、去年までの生活に戻ることはありません。一度人間界に侵入したウイルスはたぶん完全に消えてくれることはありません。感染から君たちを守っていくため

に考えられることはすべてやるつもりで教職員一同準備を進めています。同時にコロナ以前とは違うものになるだろう至学館のコミュニティとキャンパスライフがより楽しく豊かになるよう学生の皆さんも提案し、ともに働いてください。感染に対する予防をしっかりとやりながら充実した学習を行い部活動を行うために、私たちは新たな伝統、文化をつくり上げていかねばなりません。私はスポーツや音楽、ダンスのない社会に住みたいと思いません。でも、それは誰かが保障してくれるものではなく、コロナウイルスと共に生きることになった私たち自身が協力してつくっていくしかないと思います。そして、必ずできると信じます。

しっかり自己管理して時間を有効に使ってください。大学を再開しても遠隔授業も同時にやっていくこととなりますから主体的に学習を進めてください。計画的である人になるよう努力してください。

もうすぐ、より精神的にたくましくなってしっかりしてきた君たちに会えることを楽しみに私たちも頑張ります。

私の学生たちにエア・ハグを送ります。

令和2年5月7日

学長 谷岡郁子